

事業所名		放課後等デイサービス ディスカバリー				支援プログラム		作成日		2024 年		12 月		4 日	
法人（事業所）理念		好きなことや得意なことが見つかる場所・あたらしい自分を発見できる場所													
支援方針		①子どもたちの考えや気持ちを否定せず、共感や受容をし、自己肯定感を育む支援をしていきます。 ②子どもたちが、放課後ホッとできる楽しい居場所を提供し、「ディスカバリーに行きたい!」と思える環境を整備します。 ③保護者様の不安な気持ちや悩みに寄り添い、一緒に乗り越えていくパートナーになります。													
営業時間			10 時	00	分から	19 時	00	分まで	送迎実施の有無		<div>あり</div> なし				
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	来所時・帰宅時の身辺処理（荷物の整理、忘れ物をなくす等）を利用者児に合わせ実施し、習慣化出来るように支援する。 1日の流れや、スケジュールの説明などは視覚支援を用いるなど、利用者児の分かりやすい方法で伝え、不安なく過ごすことが出来るよう支援する。 生活の中での課題を利用者児、保護者から伺い、個別支援として取り組む。													
	運動・感覚	毎日の全体活動にて、運動や身体を使ったゲームなどを企画・提供し、身体機能の維持・向上を図る。 集団活動や製作活動にて、視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、様々な体験を提供し支援する。 日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や、運動機能の観察を行い、必要に応じて個別支援として支援を行う。													
	認知・行動	タイムテーブルの確認による時間の意識や経過を感じられるように支援する。 利用児が認知、解釈しやすいように環境を整え、ストレスなく過ごすことが出来るよう支援する。 集団活動や製作活動にて、各感覚を刺激し興味の幅を広げることが出来るように支援する。													
	言語 コミュニケーション	利用児に応じた課題を設定し、読み書き能力の向上を図る。 言葉だけでは難しい利用児については絵カードやサインなどを用いて、言葉以外でのコミュニケーション手段の獲得を支援する。 集団活動を通して、他者とのやり取りの場を提供し、スタッフが間に入り援助、支援する。													
	人間関係 社会性	利用児の希望や思いに寄り添った言葉がけに努め、職員と利用者様の良好な関係形成を図る。あいさつが自然にできるように意識づけをしていく。 集団活動を通して、ルールや順番を守ることや、協調した関りを持てるように支援する。役割分担のある遊びなどの協力が必要なゲームを企画する。 他者との適正な距離感を把握が出来るように、適宜声掛けを行い、他者との良好な関係形成を支援する。公共交通機関の利用を用いた活動(土曜日や長期休み)を企画する。													
家族支援		連絡帳アプリ、送迎時の会話などで随時情報共有をするとともに、 必要に応じて面談や、参観する場を設けて、 不安や困りごとへの相談援助を行う。							移行支援		学校や関連の医療・福祉施設と情報交換や担当者会議を行い、 包括的に支援を行える環境を作り、支援する。				
地域支援・地域連携		地域イベントへの参加などを通して 地域との交流の機会を提供し支援する。							職員の質の向上		・ 毎月の事業所会議実施 ・ 2事業所合同での会議の実施 ・ 研修会の参加と伝達講習				
主な行事等		・ 土曜日、長期休暇中の所外活動やクッキング ・ 夏祭りやクリスマスなど、季節ごとのイベント													